

新潟町は開港とともに佐渡とより深いかわりを持つようになりました。佐渡は新潟県の一部となり、両津と新潟を結ぶ定期航路が整備されました。日本の近代化は佐渡の経済や社会を大きく変えましたが、佐渡の人々は古くから培ってきた文化を保持し、地域産業の振興を図り、独自の地位を占めました。

大正・昭和期になると佐渡は史蹟や自然景観などを観光資源とする観光地として注目されるようになりました。その歴史や文化を慕って新潟から海を渡る著述家や有名人も多くなりました。第二次世界大

海峽を越えて

佐渡と新潟

佐渡観光の歴史と
新潟市の果たした
役割をさぐる



撮影：本間寛八氏

2010(平成22年)

7.17(土)



8.29(日)

戦後は、佐渡の人々が伝えてきた芸能や習俗が注目されました。道路や宿泊施設、交通手段などの整備が進み、旅行ブーム、離島ブームもあって、佐渡を訪れる観光客は増えました。新潟駅・新潟港は観光地佐渡の表玄関となりました。

佐渡は今、その歴史と文化に加えて、「環境」をテーマとした観光地として再生しようとしています。今回の企画展では、新潟と佐渡の交流や佐渡観光の変遷について展示し、新たな魅力あふれる佐渡と新潟の広域的な観光について考える機会したいと思います。

展示構成

1 佐渡と越後と新潟町

古代から佐渡は一国であり、江戸時代には全国の廻船が集い、新潟町と佐渡は小廻船で繋がれていたことを紹介します。

2 新潟開港と佐渡

新潟の補助港として夷湊が開港し、県庁所在地新潟と夷が深い関係を持ち始めたことを紹介します。

3 越佐航路の歩み

新潟と夷(両津)を結ぶ定期航路が開かれ、島民の足が確保されるとともに、佐渡観光に重要な役割を果たしてきたことを紹介します。

4 観光地佐渡

観光地佐渡の成り立ちや変遷を、新潟との関係に注目しながら、多くのパンフレットや写真などによって紹介します。

5 佐渡へ渡った文化人

真野新町山本家所蔵の書画を展示し、佐渡の歴史的文化的魅力に引かれて多くの文化人が佐渡を訪れたことを紹介します。

関連企画

1 展示解説会

- 毎週日曜日 ● 午後2時
- 申込不要 ● 参加費無料(企画展観覧券が必要)

2 ミニシンポジウム「佐渡の近現代と観光」

内容：近代以降の佐渡の経済的・社会的位置を確認し、観光が担った役割を検討する。

講師：本間伸一氏(元佐渡高校校長)
野口敏樹氏(佐渡市教育委員会佐渡学センター)
池田哲夫氏(新潟大学人文学部教授)

日程：8月1日(日) 午後1時から4時30分
会場：セミナー室
定員：70名
参加費：100円

※申込は、往復ハガキ又は電子メール、ファクスで、氏名・住所・連絡先電話番号・企画名「佐渡シンポ」を記入し、新潟市歴史博物館まで。(応募多数の場合は抽選となります。)
申込締切：7月25日必着。

3 関連ツアー 佐渡の博物館をめぐる

日程：9月11日(土)・12日(日) 1泊2日
内容：佐渡島内の博物館・資料館をめぐり、佐渡の歴史に浸ります。
企画・催行：新潟日報旅行センター

得 「海峽を越えて—佐渡と新潟—」展観覧券を提示すると、シネ・ウインド上映作品「朱鷺島 創作能「トキ」の誕生」(上映期間：8/7～8/13)を大人・学生 1300円でご覧いただけます。

INFORMATION

■観覧料(常設展示観覧料を含む)

	一般	団体(20名以上)
大人	600円	480円
大学生・高校生	400円	320円
中学生・小学生(平日)	200円	160円

■中学生・小学生は、土・日・祝日の観覧料が無料になります。

■シネ・ウインド8/7(土)～13(金)上映ドキュメンタリー作品「朱鷺島 創作能「トキ」の誕生」の半券をご提示いただくと個人料金の2割引きになります。

■開館時間：午前9時半～午後6時
(観覧券の販売は閉館30分前まで)

■休館日：7/20(火)・26(月)・8/2(月)・9(月)・23(月)

■交通案内

□新潟駅より：

新潟市観光循環バス(犬夜叉号)で15分「歴史博物館前」バス停下車すぐ
新潟交通「昭和大橋・入船営業所」行きバスで25分「歴史博物館前」バス停下車すぐ

□車で：

新潟バイパス紫竹山ICより約15分(駐車場：73台収容可能)

□信濃川ウォーターシャトルが敷地脇より発着



新潟市歴史博物館
NIGATA CITY HISTORY MUSEUM

〒951-8013 新潟市中央区柳島町2-10
Tel:025-225-6111 Fax:025-225-6130
URL <http://www.nchm.jp>
E-mail:museum@nchm.jp